NAGOYA UNIVERSITY

名大学園だより

This Student Information Booklet contains a variety of useful information for Nagoya University students, including on-campus news as well as extracurricular activities.

vol.159
2013.7

CONTENTS

コラム ／ 名大祭 ／ 体育大会 ／ クラブ活動 ／ 海外留学・海外渡航について
学務部の窓 ／ トピックス ／ 災害対策 ／ 伝言板

COLUMN

「この植物、ご存知ですか?」から始まって…

理事・副総長　山本　一良

東山キャンパスの中で、今まで見たことのない植物に出会いました。茎がほぼ直立して人の背の高さくらいあって、白色綿毛の密集した薄緑色の分厚い葉が下から螺旋状に付いて上に行くほど小さくなり、それらの葉の先端を包絡すると、ちょうど大学から良く見える中京テレビの塔の形、先端部分の電波の発するあたり(花穂)に多数の黄色の花がついている、という植物です。写真を撮って「この植物、ご存知ですか?」と付箋をつけて調べてもらったら、『ビロードモウズイカ』という名の地中海原産外来植物であることがわかりました。

折り良く森林や水辺の動植物に詳しい専門家達と話す機会があり、この植物のことを話題にしたら「はびこるから抜いちゃったほうがいいよ、『セイタカアワダチソウ』ほどではないけどね」とのこと。続いて「そう言えば、『セイタカアワダチソウ』は昔の勢いがないけど、どうしてだかわかる?」とのご質問。言われてみれば確かにそうだけれど、理由はわからない。答えを伺うと、『セイタカアワダチソウ』は、モグラやネズミが生活したことで蓄積した地下50cmあたりの栄養を摂って成長し、毒素を出して周囲の植物を駆逐しながら4～5mの高さにまでなって日本中に蔓延した、しかし、数十年で地下の栄養を使い尽くし、また、自分の出した毒素に自家中毒のようになって背丈も小さくなり、群落も縮小してしまった、とのことでした。何事もやりすぎては身を滅ぼすということでしょうか。以前駆逐されたかに見えた『ススキ』や『オギ』が戻ってきているそうです。

この話から人類の未来を考えてしまいました。爆発的人口増加に伴って地下の化石燃料資源を掘り尽くし、その化石燃料の燃焼で生じた温暖化ガスで生存環境を悪化させてしまって、再び世界人口が減少に転ずる・・・　このような状況をもたらさないために、我々は今、何をなすべきでしょうね?

外来植物の話が、まったく関係のない方向に進んでしまいました。いろいろな専門や趣味の人たちと話をすると、どんな話題からでも多様な発想が浮かんできます。お互いに自分の世界が広がります。大学時代に、ざっくばらんに話のできる異分野の友達をたくさん作ってくださいね。

名古屋大学

名大祭

第54回名大祭「飛びだせしゃちほこ～祭りの空へ～」が開催される

第５４回名大祭が、６月６日（木）から９日（日）までの４日間、『飛びだせしゃちほこ～祭りの空へ～』をテーマに開催されました。このテーマには名大祭への取り組みを通じて、殻を打ち破り自ら主体的に道を切り開いていく名大生になりたいという学生達の思いが込められています。

本祭に先立ち、５月１２日（日）には、毎年恒例で開催される名大祭プレ企画「仮装行列」が、名古屋栄の白川公園をメイン会場として実施されました。

６月６日（木）から９日（日）にかけての名大祭本祭期間中は、広い東山キャンパスの至るところで様々な企画が開催され、多数の来場者で大いに賑わいました。

７日（金）の夕方には「第８回盆祭り企画」が実施されました。この企画は、近隣町内会の方々との協同企画というかたちで、事前に名大祭実行委員の学生が町内会の盆踊り練習に出掛けて合同練習を行うなどの交流を経て開催されました。当日は突然の雨により、急遽、屋内会場に変更されたものの、本学の学生はもちろん住民の皆様も小さなお子様連れで多数参加する姿が見られ、老若男女がともに輪を描いて踊りを楽しみました。

また、９日（日）には、名大祭本部実行委員会主催による学術講演企画が行われました。『教えて師匠！！～落語から学ぶコミュニケーション～』と題して、落語家真打で名古屋大学理学部卒の三遊亭圓王氏をお招きし、自己表現につながる落語をテーマに、巧みな話術のコツなどの講演が行われました。会場では、多くの笑い声が起こるとともに、コミュニケーションの大切さに話題が移ると、来場者の方々が一様にうなずきながら、熱心に耳を傾けていました。

８日（土）、９日（日）に実施された「模擬店ストリート」では、保健所の助言を得て、厳しい衛生管理のもとで運営された３９店舗の飲食物の屋台が所狭しと軒を連ねました。各店舗では、長い行列ができるなど、大変な賑わいを見せ、多くの来場者が買い求めていました。

その他、ゲーム企画や名古屋大学吹奏楽団、民族舞踊団音舞（おんぶ）の公演、大道芸人によるストリートパフォーマンス、古本市、サークルなど有志団体の企画が目白押しで家族連れなど多数の来場者が楽しんでいました。

また、本祭期間中は、研究室公開など学術的な企画も学内各所で開催され、高校生をはじめ多くの参加者が、普段見ることのできない大学での研究の一端に触れ、興味深げに見学していました。

９日（土）の夜には、豊田講堂前庭において、レーザーショーが行われました。スモークが炊かれた会場は音楽に合わせて動く色鮮やかなレーザー光線に彩られ、幻想的な雰囲気に包まれました。終了後には多数の来場者から歓声と共に盛大な拍手が送られました。

最終日の夜には名大祭の最後を締め括る企画として豊田講堂前庭の特設ステージにおいて「後夜祭」が行われ、日が落ちて夕闇に浮かび上がる豊田講堂をバックにパフォーマーによる火舞の演技が披露され、集まった来場者は感嘆の声を上げ、東海地区最大規模の大学祭「名大祭」の終演を見届けその余韻に浸っていました。









第54回名大祭を終えて



６月６日（木）～９日（日）の４日間にわたって、東山キャンパス全域で第５４回名大祭が開催されました。７日（金）の夕方から夜にかけては生憎の雨でしたが、残りの３日間は梅雨とは思えないほど天気に恵まれ、たくさんの来場者に足を運んで頂きました。

実行委員長になった昨年の９月から、常に名大祭のことを第一に考えてきました。委員長として生活している間は感じなかったですが、終わった今振り返ってみると、自分の中の名大祭が占めていた割合はとても大きなものでした。

同じ実行委員の中でも名大祭に対する想いや考え方は違い、名大祭について真剣に考えているがゆえに、すれ違ってしまうこともありました。そうした様子を見ていて、委員長としてみんなをまとめきれていないのではないかと不安でした。そんな不安を抱えたまま名大祭を迎えたのですが、いざ始まると各実行委員が名大祭の成功のためにしっかりと働いてくれて、大成功に終わりました。当日の様子を見ていると、それぞれの違った考え方の根本には「名大祭を成功させたい」という想いがあったということを強く感じられ、誇りに思いました。

一年生の時から３回の名大祭に実行委員として携わりましたが、今回の名大祭で大きく考え方が変わりました。委員長になったばかりの頃は、第５４回名大祭をいかに盛り上げ、成功させるかということを考えていました。しかし、この約９ヶ月間を通して、自分の仕事は第５４回を成功させることだけでなく、５５回、５６回と続いていく、次からの名大祭へと繋ぐことだと分かりました。前にも書きましたように、実行委員の中でも名大祭に対する想いや考え方は違います。そして、名大祭のことを想い考えているのは、実行委員だけでなく、名大生、学校や地域の方々、そして来場者の方々など多くの人がいるということを委員長となって初めて知りました。そんな５３回分の歴史が詰まった名大祭に第５４回の想いや考えをのせて、来年に引き継ぎたいと思います。

名大祭のために頑張っている後輩を見る限り、来年の名大祭はきっと成功すると思います。来年の名大祭は来場者として楽しめる初めての名大祭なので今から楽しみにしています。どうかこれからも名大祭をよろしくお願いします。

第54回名大祭本部実行委員会　委員長　栗田　啓喜







体育大会

第67回名古屋大学･大阪大学対抗競技大会

主に5、6月の土、日曜日を利用して、第67回名古屋大学・大阪大学対抗競技大会が本学を当番校として開催されています。主に本学の運動施設を会場とし、毎週のように両校の学生による熱い戦いが繰り広げられています。

本大会は今年で67回を数え、年々参加競技数も増えており、本大会を通して両校の学生が互いに競技レベルを高め合うと伴に、交流を深めています。







競技結果一覧表

	競技種目	対戦結果 名大	阪大
男子	アーチェリー	×	○
	アイスホッケー	×	○
	アメリカンフットボール	○	×
	空手道	×	○
	弓道	○	×
	剣道	×	○
	航空	○	×
	硬式テニス	○	×
	硬式野球	○	×
	ゴルフ	○	×
	サッカー	×	○
	自動車競技	○	×
	柔道	○	×
	準硬式野球	○	×
	少林寺拳法	×	○
	水泳	×	○
	スキー	○	×
	漕艇	×	○
	ソフトテニス	×	○
	ソフトボール	9/3,4実施予定	
	体操	×	○
	卓球	×	○
	バスケットボール	○	×
	バドミントン	×	○
	バレーボール	○	×
	ハンドボール	引き分け	
	フィギュアスケート	○	×
	ライフル射撃	○	×
	ラグビー	×	○
	ラクロス	○	×
	陸上競技	×	○
	相撲	○	×
	男子成績	16	14

	競技種目	対戦結果 名大	阪大
女子	弓道	○	×
	剣道	×	○
	硬式テニス	×	○
	漕艇	○	×
	ソフトテニス	×	○
	体操		
	卓球	×	○
	バスケットボール	○	×
	バドミントン	○	×
	バレーボール	○	×
	フィギュアスケート	×	○
	ラクロス	○	×
	陸上競技	○	×
	女子成績	7	5
総合成績		23	19
		引き分け1	



クラブ活動

民族舞踊団音舞（おんぶ）

私たち民族舞踊団音舞（おんぶ）は、年に２回ある大きな舞台に向けて、日本各地の踊りや和太鼓、お囃子などを練習しています。名古屋大学を中心として、他にもさまざまな大学の学生と一緒に活動しています。音舞の演目は、現地のものをそのまま演じているのではなく、少しアレンジして、独自の演目となっているものが多数あります。

舞台の他にも、老人ホームや保育園などの依頼を受けて、公演を行っています。興味を持っていただいた方は、ホームページやFacebookをご覧いただけたらうれしいです。よろしくお願いします。



合気道部

合気道とは投げ技と固め技を中心とした武道です。ただ、合気道では腕力には頼りません。相手の力との関係性や、間合い、タイミングなどを計り、相手の体勢の崩れるところへ導いてあげることで相手を投げるのです。ですので、小柄な人や女性でも、修行を積めば大きな相手を制することができます。もちろん、もともと体力に自信がある人が極めればさらに強くなれます。また、合気道には試合がありません。しかし、合気道の稽古では護身術として使えるようなこともします。さらに、合気道の稽古は必ずしも一対一とは限りません。時には一対二や一対三で稽古をしたりもします。

合気道部は月～土曜日の朝と金曜日の夕方に第四体育館で稽古をしています。月に一度は東京から七段の先生をお迎えして指導をしていただいています。



海外留学・海外渡航

海外留学について

海外留学を実現するための最初の一歩として、毎週火曜日に「海外留学入門セミナー」を開催しています。留学担当教員が留学プログラムの概要や選考の流れ、必要な語学レベルと成績、単位、奨学金、留学計画のヒントなどについてご説明をしますので、お気軽にご参加ください。尚、名古屋大学では、留学情報の提供&相談窓口として、留学生センター１階に「海外留学室」を設置していますのでご利用ください。

海外留学のサポート体制

海外留学室のサポート

海外留学入門セミナー・・・毎週火曜日のお昼休み　12:15 ～ 12:45、留学生センター 201 教室、予約不要

- 海外留学情報の提供（ホームページ、facebook、メーリングリスト、図書貸出）
- 説明会、セミナーなどの開催（交換留学、短期留学など）
- 個別相談（予約制 / 専任教員が担当）
- 留学出願手続きのサポート

名大の主な留学プログラム

協定校への「交換留学」は応募から渡航まで半年以上かかるため、長期計画で臨む必要があります。一方「短期留学」は準備期間が短く、語学条件なども緩やかなため、交換留学前のお試し留学として利用する学生が多くいます。欧米以外の大学であっても、英語で講義を受けることのできる大学もありますので、相談に訪れてください。

- 名古屋大学協定校（全学）への交換留学（原則１年間、１学期間も可能）
  世界約 26 カ国 100 校
- 名古屋大学協定校（全学）への短期留学（2週間～１ヵ月程度）　※下記は一例です。
  英語研修（モナシュ大 / 豪州、ヨーク大 / カナダ、ノースカロライナ大 / 米国、フライブルク大 / ドイツ）、
  英語講義の受講（ガジャマダ大学 / インドネシア、慶熙大 / 韓国、香港大 / 中国、ジュネーブ大 / スイス）
  中国語研修（同済大 / 中国、国立台湾大 / 台湾、国立中正大 / 台湾、復旦大 / 中国）
  韓国語研修（梨花女子大、慶熙大、漢陽大、延世大、）
  独仏語研修（フライブルク大）
- JASSO 留学生交流支援制度（海外大学院の学位取得奨学金）
- ルノー財団理工学修士プログラム（奨学金付）

海外渡航について

海外へ渡航する際の届出について

海外へ渡航する学生は、オンライン上でデータベースへの入力をする必要がありますので、渡航前に下記のデータベースにアクセスしてください。

1. データベース入力の目的

海外で災害・テロ、感染症発生等の緊急事態が発生した際に、名古屋大学から該当地域へ渡航中の学生の安否確認を迅速に行うためのものです。

2. データベースへの入力方法

以下のＵＲＬにアクセスし、名古屋大学IDとパスワードを入力してログインし、案内に従って入力してください。

https://intl.ecis.nagoya-u.ac.jp/tokou/

※下記からもアクセスできます。

①名古屋大学HPトップ画面→国際交流→留学生センター→海外留学情報→渡航準備→海外渡航時の届出のお願い

②名古屋大学HPトップ画面→学内専用→学生向け→名古屋大学ポータルにログイン→学務または国際活動→海外へ渡航する際の届出について

3. データベースに入力するメリット

データベースに入力することにより、「留学願」、「海外渡航届」、「海外渡航（留学）中の連絡先（緊急連絡用）」の届出様式をデータベース上からダウンロードすることが可能となり、届出様式に記入する手間が省略できます。

またオンライン入力なので、渡航先を含む学外からもアクセスが可能です。

海外渡航データベースについての照会先 ／ ■届出書類に関すること：
▸所属学部・大学院の教務担当部署

■データベースへの入力に関すること：
▸国際部　国際学生交流課
E-mail: tokoudb@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

学務部の窓

学生相談総合センター案内

名古屋大学では、学生相談・メンタルヘルス相談・就職相談の体制を充実させ、豊かな学生生活の実現をはかるために、学生相談総合センターが設置されています。障害のある学生の修学支援のため、障害学生支援室も設置されています。

毎日の生活の中から生じてきた悩みや課題は、自分自身について考える良い契機ともなります。

日常場面では悩みや課題にゆっくり取り組むゆとりをなかなか持ちにくいものです。そんな時このセンターを利用してみてはいかがでしょうか。

学生相談総合センターは、皆さんの学部や研究科とは独立した組織です。あなたのプライバシーは守りますので、気軽に利用してください。

相談申込・問い合わせ
3つの方法があります
- 直接受付に来て申し込む
- 電話で申し込む
- メールで申し込む

学生相談部門
052-789-5805
工学部７号館Ｂ棟２Ｆ
学生相談総合
センター受付

メンタルヘルス部門
052-788-6276
保健管理室１階
受付

就職相談部門
052-789-2176
工学部７号館Ｂ棟２Ｆ
学生支援課
就職支援室

障害学生支援室
052-789-4756
工学部７号館Ｂ棟２Ｆ
障害学生支援室

学生相談総合センターの受付時間
月～金 10：00 ～ 17：00
URL：http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/
E-mail：gakuso@htc.nagoya-u.ac.jp
sg-sien@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp（障害学生支援室）

学生相談総合センターでは専任相談員のほかに、各分野に精通した兼任相談員も皆さんをサポートしています。
詳しくは、「学生便覧」、「学生相談総合センターだより」、「学生相談総合センターホームページ」をご参照ください。





Peer Support

「ピア」とは仲間という意味です。
名古屋大学学生相談総合センターには3つのピアがあります。学生ボランティアの仲間が全力でサポートします。
相談したいあなたも、サポーターとして活動したいあなたも、お気軽にご連絡ください。（E-mail ： gakuso@htc.nagoya-u.ac.jp）

学生生活について

困ったことがあったら，相談に来てください。
場所：中央図書館2F
ピアサポブース
時間：水曜日12～16時
（長期休暇期間
除く）

就職活動について

進路の決まった頼りになる先輩たちが，あなたの就活応援します。
場所：工学部7号館B棟2F
就職支援室
期間：10月～2月
就職の決まったみなさん，サポーター活動してみませんか

障害学生支援について

障害学生支援の活動をしています。
興味がある人、ちょっと気になる人は、連絡を！！
場所：工学部7号館B棟2F
障害学生支援室

SGSサポーター
あいる

学生会館の利用状況

学務部学務企画課

学生会館は、本学東山地区の北端（北部厚生会館の北隣）にあり、学生の課外活動、自治活動等に利用できる施設です。中には集会室、和室、談話室及び理容室があります。集会室は9室（50名用2室、30名用2室、25名用2室、20名用2室、15名用1室）、和室は2室あり、これらは主としてサークル団体が課外活動に利用しています。談話室は学生が授業外の時間等に利用できるコーナーで、休息をとったり、囲碁や将棋を楽しむことができます。

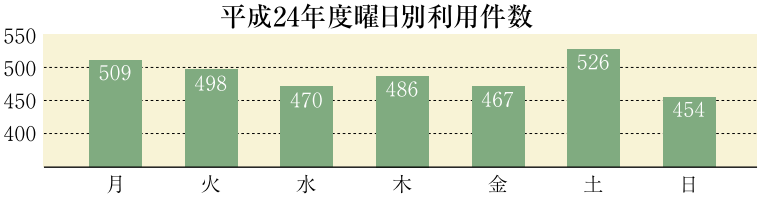
平成24年度においては、年間359日開館され、集会室及び和室の利用件数は3 ,410件（1 日平均9 .4件）、利用者数は103,578人（1日平均288.5人）となっています。



平成24年度月別利用状況

年	月	開館日数	利用件数	利用者数		
				学生	教職員	計
24	4	30	289	10,095	0	10,095
	5	31	327	10,804	0	10,804
	6	30	253	7,775	0	7,775
	7	31	286	9,413	0	9,413
	8	31	298	8,108	0	8,108
	9	30	302	9,212	0	9,212
	10	31	293	8,458	0	8,458
	11	30	291	8,675	0	8,675
	12	28	266	7,148	0	7,148
25	1	28	264	7,837	0	7,837
	2	28	269	7,597	0	7,597
	3	31	272	8,456	0	8,456
計		359	3,410	103,578	0	103,578

平成24年度曜日別利用件数



中津川研修センターの利用状況

学務部学務企画課

この施設は、東海地区国立大学の共同利用施設として、学外における演習・実習・課外教育等を通じて、学生・教職員間の、さらには大学間の交流を図り、学生の人間形成に資することを目的として設置されています。

研修センターのある岐阜県中津川市の苗木地区は、旧苗木藩の城下町として知られる風光明媚な地域です。近くには中津川市鉱物博物館、恵那峡県立公園等が、少し足をのばせば、旧中山道沿いに島崎藤村記念館、馬籠・妻籠等の旧宿場があります。

同センターは5人以上の団体で4泊5日以内の研修計画を立てれば、誰でも気軽に利用できます。平成24年度には、44団体、延4 ,071名（実人数1 ,490名）の利用がありました。

宿泊室には和室と洋室があり、一部洋室には大型ベッドを配置しています。また液晶プロジェクタやプリンタ複合機、無線 LAN によるインターネット接続を利用することができます。

利用についての詳細は、学務部学務企画課（052−789−2165）へ問い合わせてください。

施設の概要

◆研　修　棟（面積：1,348m²）
・大研修室（100人収容）
・中研修室（50人収容、2室分割可）
・宿 泊 室（和室7室）（5人×2室、4人×5室）
洋室5室（3人×3室、8人×2室）
◆体　育　館（面積：1,348m²）



平成24年度大学別利用団体数

大学名等	団体数	%
名古屋大学	33	75
名古屋工業大学	0	0
愛知教育大学	0	0
豊橋技術科学大学	0	0
岐阜大学	1	2
三重大学	0	0
静岡大学	0	0
浜松医科大学	0	0
東海地区外国立大学	1	2
公・私立大学	5	11
その他（高専地域団体等）	4	9
計	44	100

平成24年度利用状況

区分	利用者数（人）	%
学生	1775 （721）	44
教職員	300 （91）	7
その他	1,996 （804）	49
計	4,071 （1616）	100

注:延べ利用者数を示す。
（ ）内は女子の内数。

学務部の窓

就職支援室及び就職相談室の利用案内

学務部学生支援課

就職支援室　（工学部7号館B棟2F学生支援課）

就職支援室では、就職活動に役立つ情報を提供し、年間を通じて進路探索活動を支援しています。積極的に活用してください。

＜就職支援室で利用できる就職支援ツール＞

OB・OG名簿閲覧

名大卒業生が在籍している企業のうち、名簿の提供があった企業について、OB・OGの情報が閲覧できます。興味のある企業にOB・OGがいれば、アポイントをとって訪問することも可能です。（閲覧には学生証が必要です。）

求人情報・会社概要等閲覧

企業等から名大生のために寄せられた求人票、会社案内や会社説明会情報など、インターネットには出ていない就職情報を見つけることができます。民間企業はもちろん、公務員や教職員の求人情報、願書も閲覧及び配付を行っています。

職業適性診断システム「キャリア・インサイト」

パソコンによる適職診断検査「キャリア・インサイト」を受診することが可能です。結果を有効に活用するために、受診後は就職相談を利用しましょう。また、パソコンはインターネットに接続されているので、企業情報の収集などにも使えます。

就職関連書籍及びDVD閲覧・貸出

広く社会情勢を理解するために役に立つビジネス雑誌や日経新聞等の閲覧ができます。また、就職活動に役立つ書籍の閲覧・貸出を行っています。さらに、参加できなかった全学対象ガイダンスの記録や蔵職マナー等のVTRを視聴できます。

就職支援室メールマガジンに登録しよう！

就職支援室では、就職支援メールマガジン配信により、キャリアサポートガイダンスや合同企業説明会、インターンシップ情報など、就職活動やインターンシップに役立つ情報をリアルタイムで学生の皆さんにお届けしています。まだ登録を行っていない方は、下記URLまたはQRコードからメールマガジンに是非、登録しましょう（携帯電話の機種によっては、うまく表示されないことがあります）。なお、登録には名古屋大学ポータルからのメールアドレス登録（p11参照）が必要ですのでご注意下さい。

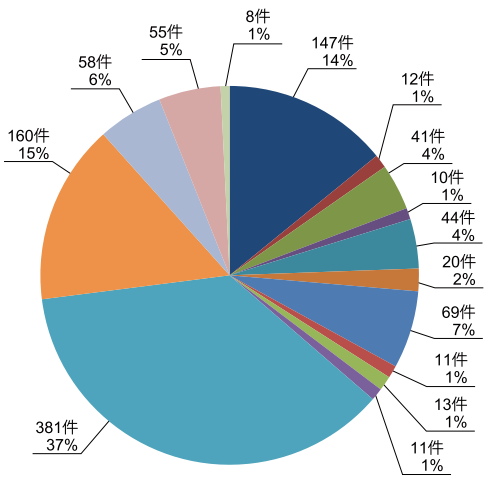
http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/merumaga/

◆ 就職支援室利用状況／就職支援室来室アンケート ◆

「学部･研究科別」集計データ

学部･研究科		人数			計
		人数	(男性)	(女性)	
文	文学部	106	24	82	118
	文学研究科	12	9	3	
教	教育学部	35	4	31	51
	教育発達科学研究科	16	11	5	
法	法学部	31	20	11	35
	法学研究科	4	0	4	
経	経済学部	75	40	35	75
	経済学研究科	0	0	0	
国開	国際開発研究科	23	8	15	23
国言	国際言語文化研究科	5	0	5	5
情文	情報文化学部	32	21	11	65
	情報科学研究科	33	32	1	
理	理学部	33	31	2	116
	理学研究科	83	37	46	
多元	多元数理科学研究科	14	14	0	14
工	工学部	49	39	10	197
	工学研究科	148	129	19	
農	農学部	33	16	17	60
	生命農学研究科	27	4	23	
医	医学科	0	0	0	24
	保健学科	12	0	12	
	医学系研究科	12	10	2	
環	環境学研究科	71	50	21	71
創薬	創薬科学研究科	8	3	5	8
不明	学部･学科不明	1	1	0	1
合計		863	503	360	863

「目的別」集計グラフ



（複数回答）

「目的別」集計データ

回答	件数	割合
就職に関する相談	147	14.1%
OB･OG名簿の閲覧	12	1.2%
先輩の就活レポートの閲覧	41	3.9%
新聞･雑誌等の閲覧	10	1.0%
求人票･企業パンフレットの閲覧	44	4.2%
公務員試験情報の閲覧	20	1.9%
説明会･イベントの申込	69	6.6%
説明会･イベントチラシの閲覧	11	1.1%
適性検査の受検	13	1.3%
PC･インターネットの利用	11	1.1%
就職相談員への予約･実施･取消	381	36.6%
就職図書･DVDの貸出･返却	160	15.4%
インターンシップに関する相談	58	5.6%
インターンシップに関する情報収集	55	5.3%
その他	8	0.8%
合　計	1,040	100.0%

「月別」集計データ

集計月	人数			累計
	人数	男性	男性	
4月	341	182	159	341
5月	268	159	109	609
6月	254	162	92	863
合計	863	503	360	863

就職相談室（工学部7号館B棟2F学生相談総合センター）

◆ 就職相談室について

工学部7号館就職支援室に隣接する就職相談室には、学生相談総合センター就職相談部門の専任相談員（キャリアカウンセラー）が2名常駐し、学生の皆さんの進路や就職に関する相談に応じています。

◆ 相談対応

就職活動期だけではなく、年間を通じて相談対応しています。民間企業への就職活動が盛んになる冬休みや、教員や公務員試験が本格化する夏休みにも就職支援室同様に多くの就職活動生が利用しています。
相談は一人30～50分、個別相談体制です。落ち着いた雰囲気の中じっくり時間をかけること自分についてや社会についての理解を深めたり、疑問や不安の元になっているものを一緒に解決できる場となっています。

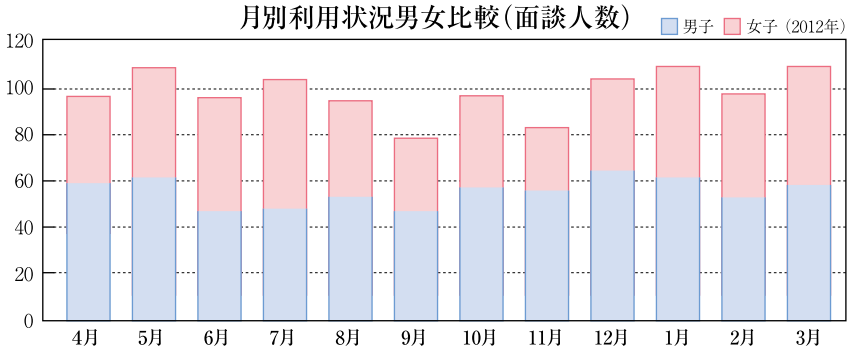
◆ 対象学年

就職活動期にある3年・4年生やM1・M2生だけではなく、これからの進路について興味や関心、疑問や不安がでてきた低学年の学生やドクター・研究生などさまざまな学年の学生が利用しています。

◆ 相談内容

具体的な就職活動期には、自己分析や業界・企業選択について、エントリーシートや面接や筆記試験など選考についての相談が多く寄せられます。最近は、インターンシップに関する相談も増えています。就職活動が終盤になってきても、内定に関する相談や、決断をどう下すか、周囲の意見との相違や、進学か就職か、公務員か民間企業かなど、あらゆる時期にさまざまな相談が寄せられています。一見同じ相談にみえても、深く掘り下げていくと一人ひとり相談内容もその後の選択も異なります。
学生のみなさんには学年・時期を問わず、自分の進路選択に真剣に取り組み、就職相談室を利用することで、疑問や不安を自信にかえていくことができるよう期待しています。

月別利用状況男女比較（面談人数）



◆ 就職相談利用状況 ◆

学部別来談回数

（2012年）

	男	女	合計
文学部	48	68	116
教育学部	13	31	44
法学部	25	30	55
経済学部	63	88	151
情報文化学部	63	7	70
理学部	40	10	50
工学部	54	14	68
農学部	21	31	52
医学部	1	19	20
家族		2	2
不明	1		1
合計	329	300	629

研究科等別来談件数

（2012年）

	男	女	合計
文学研究科	4	19	23
教育発達科学研究科	1	31	32
法学研究科	2	2	4
経済学研究科	3	2	5
理学研究科	42	61	103
工学研究科	196	20	216
医学系研究科	18	26	44
生命農学研究科	42	101	143
国際開発研究科	9	15	24
国際言語学研究科		10	10
多元数理科学研究科	74		74
情報科学研究科	63	2	65
環境学研究科	29	13	42
創薬科学研究科	2	3	5
法科大学院		3	3
卒業生	147	90	237
研究生	16		16
不明	1		1
合計	649	398	1047

◆ 開設日及び開設時間

毎週　月曜～金曜
時間　10時～17時まで
（夏季・冬季休暇中も解説）

◆ 相談場所

学生相談総合センター内
就職相談室（就職支援室隣接）

◆ 利用方法

30分か50分を選択して下さい。予約制をとっています。
直接予約：就職支援室カウンターにて随時予約を受け付けています。
電話予約：052－789－2176（就職支援室）平日9時～17時
メール予約：名古屋大学学生相談総合センターホームページ内からメール予約も可能です。
2週間先までの開設日・空き状況は名大 HP→教育／キャンパスライフ→就職関連情報→相談室利用案内で確認できます。

就職支援室・就職相談室の連絡先

ホームページ
http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/

メールアドレス
s-shien.evententry@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

電話
052−789−2176

お気軽にお問い合わせください



※ 地下鉄「名古屋大学」駅3番出口　徒歩：約3分

学務部の窓

平成25年度 名古屋大学 全学対象就職ガイダンス等 実施計画（後期）

○：学部4年、大学院前期課程2年対象 △：学部3年、大学院前期課程1年対象 ◎：学部1・2年対象 ☆：全学年対象 ◇：インターンシップ参加学生対象

月	日	実施内容	詳細
8月	6日（火）	☆ グループディスカッション練習会（8/6、8/7、8/8、8/9）	選考試験で活用されているグループディスカッションを実際に体験
	12日（月）	○ 教員採用試験 個人面接対策講座	教員採用試験面接官経験者から、実践的な教員試験面接を学ぶ
	28日（水）	○ ミニ講座 第1回就活再チャレンジセミナー	合同企業説明会の利用の仕方、見所の解説
	29日（木） 30日（金）	○ 第1回 学内合同企業説明会＆選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業よるブース形式の説明会
	31日（土）	博士課程学生に対する学内合同企業説明会＆選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業よるブース形式の説明会
9月	11日（水）	☆ 職種研究セミナー	企業内における各セクションの役割分担
	18日（水）	○ ミニ講座 第2回就活再チャレンジセミナー	合同企業説明会の利用の仕方、見所の解説
	18日（水） 19日（木）	○ 第2回 学内合同企業説明会＆選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業よるブース形式の説明会
	25日（水）	☆ 職種研究セミナー	企業内における各セクションの役割分担
10月	9日（水）	☆ 第3回 キャリアサポートガイダンス	就職活動指導準備及び今後の活動スケジュールに関する講演、内定者による体験発表
	11日（金）	☆ 北陸3県の県庁ガイダンス	公務員として求められる人材像及び採用試験制度の概要
	16日（水）	☆ 第4回 キャリアサポートガイダンス	名大OB・OGによるパネルディスカッション
	18日（金）	☆ 業界研究セミナー（10/18、10/22）	金融、マスコミ、商社、食品、エネルギー、運輸、メーカー、IT等の企業担当者（パネルディスカッション）
	25日（金）	☆ 地方公務員＆教員就職ガイダンス	公務員として求められる人材像及び採用試験制度の概要 先輩の体験発表及び懇談会等
	30日（水）	◇ 全学インターンシップ報告会	※次年度以降参加希望学生を含む
11月	1日（金）	☆ 業界研究セミナー （11／1、11／5、11／8、11／12、11／14、11／19、11/21、11／26）	金融、マスコミ、商社、食品、エネルギー、運輸、メーカー、IT等の企業担当者（パネルディスカッション）
	13日（水）	○ 社会人準備セミナー「働く人の基礎知識」	内定取得者が新社会人として知っておきたい基礎的知識全般
	20日（水）	☆ 第5回 キャリアサポートガイダンス	実践に役立つエントリーシートの基本
	27日（水）	△ 「名古屋大学企業研究セミナー2013」事前レクチャー	
12月	4日（水）	◎ 1・2年生のためのキャリアデザインセミナー	将来に向けて今大切なこと等の講演及び演習
	4日（水）	△ 国家公務員 総合職中央省庁セミナー	試験、採用手続きの説明及び各府省業務説明
	7日（土）	△ 第1回 名古屋大学企業研究セミナー2013	
	8日（日）	業界を代表する企業による企業研究セミナー	
	18日（水）	☆ 第6回 キャリアサポートガイダンス	講演：この時期に大切なこと、 模擬面接と採用担当者からコメント－人事の本音－
	21日（土） 22日（日）	△ 第2回 名古屋大学企業研究セミナー2013	業界を代表する企業による企業研究セミナー
1月	11日（土） 12日（日）	△ 第3回 名古屋大学企業研究セミナー2013	業界を代表する企業による企業研究セミナー
	15日（水）	△ 国家公務員 一般職等合同業務説明会	試験、採用手続きの説明及び各府省業務説明
	未定	△ ミニ講座 エントリーシート対策講座	
2月	未定	△ 実践グループディスカッション練習会	

トピックス

平成24年度名古屋大学総長顕彰

本顕彰は、学問の研鑽や文化・社会活動等を通じて、「名古屋大学学術憲章」の目指す人物像「勇気ある知識人」を実践している学生を称えるために、平成15年度に創設されたものです。

平成24年度の募集は、ポスター、ホームページ及び名古屋大学駅電子掲示板等を通じて、平成24年12月17日（月）～平成25年1月31日（木）の期間に行われ、その結果、「学修への取り組み」部門に9件の学部推薦が、「正課外活動への取り組み」部門に自薦・他薦を合わせて12件の応募がありました。





総長顕彰委員会による厳正な審査及び合議を経て、最終的に9名（団体代表を含む）の学生が、卒業式終了後に行われた授与式にて、平成24年度総長顕彰として、表彰されました。

授与式終了後の総長と受賞学生との懇談会では、和やかな雰囲気の中、総長から、学生に対する将来への激励があった後、活発な意見交換が行われました。

「学修への取り組み」部門（学部推薦）

- 坊田　千里　教育学部人間発達科学科4年
- 鈴木　健介　経済学部経済学科4年
- 服部　　景　理学部生命理学科4年
- 水谷　達志　医学部医学科6年
- 浅井　　崇　工学部機械・航空工学科4年

「正課外活動への取り組み」部門（自薦・他薦）

- **名古屋大学 人力飛行機制作サークル AirCraft**
  （代表：池田　遼輔　工学部3年）／ 正課外活動（人力飛行機コンテストでの優勝及び大会記録樹立）
- **あかりんご隊**
  （代表：南　明希　理学研究科博士課程前期課程1年）／ 正課外活動（内閣府男女共同参画局主催学生コンペティション入賞）
- **NUMAP　名古屋大学ミュージアム活性化プロジェクト**
  （代表：川本　恭平　情報文化学部4年）／ 社会への貢献活動（名古屋大学でのサイエンスコミュニケーション活動の実践）
- **太田　貴大**
  （工学研究科　博士課程後期課程3年）／ 社会への貢献活動　本学への貢献活動（東山キャンパスでの絶滅危惧種（鳥類）等の自然環境保全活動）

伝言板

「美術館」大学メンバーシップ

学務部学務企画課

本学は、「名古屋ボストン美術館」、「徳川美術館（蓬左文庫含む）」及び「名古屋市博物館」の大学メンバーシップに加入しています。
この制度は、本学の学生（学部学生・大学院生の正規学生の他、研究生・聴講生などの非正規生を含む）であれば、入場の際に本学の学生証を入口で提示することにより、何度でも無料で入館できる制度です。（一部有料展示会を除く）
展示内容が変更になる度に各学部等の学生向け掲示板にポスターを掲示しますので、興味のある展示会などは是非鑑賞してください。
たまには、研究活動の息抜きに、美術鑑賞でも如何ですか?
詳しい展示内容は、それぞれのHPでも見られますので、参照してください。

メールアドレス登録についてのお願い

学務部学務企画課

本学では、災害時の連絡を含め、大学からの緊急・重要な連絡に電子メールを活用することとしました。
緊急時の連絡を徹底するためには、全構成員の登録が必要となりますので、趣旨・使用目的をご理解いただき、名古屋大学ポータブル（MyNU）よりメールアドレスを入力してください。なお、すでにメールアドレスを登録された方は、登録されたメールアドレスに誤りがないか確認いただき、メールアドレスの変更があった場合には、再度入力をお願いします。

【※登録されたメールアドレスの使用目的】
・災害発生時の安否確認に関する連絡
・大学の管理・運営等に係る緊急・重要事項の連絡
・学務に関する重要事項の連絡
・その他、本学がメールにより提供する各種サービス（希望者のみ）

ゴミ出しマナーはルールを守って

学務部学務企画課

名古屋市では、各家庭から排出されるゴミは、種類毎に分別し、種類毎に指定された曜日・場所に出すことになっています。
名古屋市内で単身で下宿生活を送っている学生は、地域の一員としてこのゴミ出しルールに従い、ルールとマナーを守ってゴミを出すようにしてください。
分別していないゴミは、処理できず放置される原因にもなります。
ゴミの出し方（種類の分け方）が判らないときは、各区の環境事業所、又は町内会の保健委員の方に尋ねるようにしてください。

自転車の盗難防止・走行上の注意について

学務部学務企画課

学内において、自転車盗難の犯罪が増加しています。駐輪する際は短時間であっても必ず施錠をし、鍵も二重ロック（ツーロック）にするようにしてください。自転車窃盗犯の約70%がツーロックされている自転車は盗まないと言っています。
なお、当然のことですが、他人の自転車を無断で使用する行為は犯罪行為です。自転車の窃盗は、刑法第235条の「窃盗罪」であり、10年以下の懲役・50万円以下の罰金が科せられます。警察に検挙された場合、必ず書類送検され、さらに、本学からは学則に基づき懲戒処分が課せられることがあります。絶対に行わないでください。
また，自転車走行上の注意として、東山キャンパス周辺は、坂の多い地形ですので、特に下り坂でのスピードの出し過ぎや一時停止の無視等により、歩行者や他の車両との事故を起こさないよう、十分に注意してください。たとえ自転車でも、歩行者に接触すると命にも関わる大事故につながりかねません。周囲に配慮した、優しい走行を心がけてください。

薬物に関する注意喚起

学務部学務企画課

昨今、大学生による大麻をはじめとする薬物事件が、新聞等で大きく報道されています。
軽い気持ちや興味本位で禁止薬物に手を出してしまうと、自分の人生において取り返しのつかない事態に追い込まれます。罪の重さを後悔しても、罪を消し去ることはできません。
学生のみなさんは、法令を遵守し、絶対に禁止薬物に手を出すことがないようにしてください。

宗教団体等への注意喚起

学務部学務企画課

学校内で強引な勧誘を行う宗教団体や、「自主的なサークル」を装って本当の活動目的を伝えず学生を勧誘する宗教団体などに対する注意喚起については、学生生活ガイダンスや掲示物等でも周知しているところですが、素性のよくわからない相手に対して、安易に携帯電話の番号などの個人情報を伝えることのないように注意してください。
また、学生のみなさんが少しでも不安や疑問を感じた場合は、学務部学務企画課（又は各部局の担当掛）や学生相談総合センターに相談してください。
無用なトラブルに巻き込まれないよう、無用な勧誘はきっぱりと断るようにしてください。

マルチ商法等に注意

学務部学生支援課

学生を狙った悪徳商法が多発しています。マルチ商法等みなさんが陥りやすい消費者トラブルの事例は名古屋大学学生便覧にしてあります。不要なものはその場ではっきり断ることが大切ですが、契約してしまった後で解約したいときはクーリングオフ制度がありますので、なるべく早く消費者相談窓口で相談してください。

愛知県消費生活情報ホームページ
http://www.pref.aichi.jp/kenmin/shohiseikatsu/
中央県民生活プラザ
〒460-8501　名古屋市中区三の丸 3−1−2　自治センター 1 階
TEL: 052-962-0999

災害対策

全学で地震防災訓練を行います

名古屋大学では、毎年、春と秋に全学防災訓練を実施しています。春の訓練は防災体制や情報伝達方法の確認を目的として、名大ポータルによる安否状況入力や一斉放送による伝達を行いました。

秋には全学で地震防災訓練を行います。今年は10月29日(火)2限です。必ず参加して、緊急時の行動を確認してください。

◆ 一斉避難訓練

建物からの避難訓練を全員で行います。11:30まで通常の講義を行い、続けて「緊急地震速報」の放送に従って、強い揺れから身を守る行動（安全姿勢）を確認し、教職員や放送の指示に従って建物外の安全な場所まで避難します。

このときに、実際に大きな地震が起こったことをイメージして取り組んでください。強い揺れのあとは余震が続きますし、建物の被害や火災の可能性もあります。講義室では大勢が行動しますので、指示に従って、あわてず、順序を守って、素早く行動する必要があります。階段や出口などが特に危険です。また実験室や研究室では、真っ先に危険な薬品や機器などから離れなければなりません。決められた屋外の一時避難場所まで避難したあとは、落ち着いて無事の確認や指示を受けられるようにしてください。



◆ 大学の災害対応体制の確認

自然災害や火災などが起こったときのために、教職員による「自衛消防隊」があり、避難の誘導、けが人や火災の対応、被災状況の確認と連絡などの役割を分担しています。本学のキャンパスは広いので、いくつかの区域（ブロック）にわかれ、さらに建物ごとに緊急の対応をすることにしています。また、大規模な自然災害の場合は、対応のために全学と部局に「災害対策本部」が設置されます。地震防災訓練当日は、このような体制で実際に活動し、確認を行います。

◆ 災害時に必要なこと

このほかに、安否確認や一斉放送、構内道路の交通規制などが行われます。事前に詳しく連絡されますので、よく確認してください。

昨年の訓練では、全学で 1 万人以上が参加しています。大きな組織では、一人ひとりが自分のするべきことをよく理解して、十分な準備と適切な行動をすることが、被害や混乱を減らすために大切です。そのためにぜひ防災訓練を活かして下さい。

伝言板(2)

学生住居･家庭教師の斡旋･紹介及びアルバイトの情報提供

学務部学生支援課

それぞれ、次により斡旋・情報提供をしています。

1.住まいの斡旋

名古屋大学消費生活協同組合
(Tel.781-7503)

2.アルバイトの求人情報

1）家庭教師の斡旋・紹介…名古屋大学消費生活協同組合
(Tel.781-1111)

2）一般アルバイト…学生アルバイト情報ネットワーク事務求人サービスで情報提供しています。
http://www.aines.net/nagoya-u/

国民年金の学生納付特例制度について

学務部学生支援課

20歳になったら必ず国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務づけられています。しかし、学生の在学期間中は所得がありませんので、保険料納付が困難な場合があります。このことから、在学期間中の保険料が後払いできる学生納付特例制度があります。

学生納付特例制度は、申請をして承認を受ければ在学期間中の保険料が後払いできる制度で、この特例の承認を受けると、学生納付特例期間中の障害などといった不慮の事故には、満額の年金が支給されます。

http://www.nenkin.go.jp

平成25年度名古屋大学学生生活広報担当グループ〈主査〉磯部 健一〈委員〉赤渕 芳宏・清河 幸子
【本誌に対するご意見等は下記までお寄せください。】
学務部学生支援課就職支援室　Tel.052-789-2176／Fax.052-747-6543
次回の発行予定：平成25年11月